

## 高津校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成27年10月8日(木) 19:00～21:05

場所 高津公民館

参加者数 男 85人 女 31人 合計 116人



質疑応答(要約)

### 1. 連合自治会共通の市政課題

「健康都市づくりについて」

・・・ 福祉部長 説明・・・

特になし

### 2. 校区課題

①課題名(都市計画道路・宇高西筋線の道路整備促進について)

【宇高自治会 石川さん】

宇高西筋線は高津地区と新居浜駅、清掃センター、新居浜インター等、生活上、非常に重要な路線であります。長年の要望で部分的な改良は行われたものの、未だに幅員が狭く、大型バス等が一方通行のみの進入しかできず、近い将来発生する可能性が高い南海トラフの巨大地震が起これば、家屋の倒壊等で緊急車両の進入を阻害することも十分考えられ、住民が望む安全安心な道路にはほぼ遠いものです。防災上の観点、利用人口の観点から、

是非早期の着手を要望いたします。

**【建設部長】**

まず新居浜市全体でどのような道路の整備状況であるかを説明すると、まず国では国道バイパスの整備を進めており、県においては西町中村線と郷桧の端線、市は上部東西線と角野船木線を整備しています。いずれも未だ全線開通には至っておりません。また、本市の都市計画道路整備率は55.9%、宇高西筋線を含めて未着手の道路が6路線あり、まだ道路のネットワークは未だ発展途上の状況であります。

道路整備は多額の費用が掛かるため、国の交付金等も要望しているところですが、国でもこれからの人口減少、高齢化社会を見据え、より効果の高い選択と集中で特化していくような方向に進められており、市の要望額の半分以上しか配分がなく、また、既存道路や橋りょうの老朽化による維持補修管理も嵩んできております。

こうした状況下、ご要望の宇高西筋線につきましても、上記の路線と同様に、新居浜市都市計画マスタープラン等において整備路線として位置付けられておりますが、整備延長が1.7km余りと長く、しかも、その大部分が住宅地を通過することから支障となる家屋も多く存在しております。

このようなことから、本路線におきましても多額の事業費が見込まれており、現時点において早期の事業化は困難な状況です。

しかしながら、市といたしましても、ご要望にありましたように、本路線は高津地区における通勤通学及び日常生活を支える生活道路としての役割を持つとともに、新居浜駅や新居浜インターへのアクセス道路としての役割を持つ路線として、また、災害時には人や物資の緊急輸送路の役割を持つ路線として十分に認識しているところで、防災の観点から新たに国の交付金対象事業として申請できないか、また一部県道区間（平和通り～敷島通り）も含まれますことから、県とも連携を図りながら事業化の時期を検討して参りたいと考えております。

**【意見】（柴田高津公民館館長）**

宇高西筋線が敷島通りと交差する交差点は市内で交通事故発生件数が一番多く、高津小学校からわずか300mの距離にそのように危険な個所があるというのは問題である。人口も交通量も多いということはニーズが高いということなので、早期に着工していただきたい。

②課題名（宇高地区の公共下水道認可区域の編入について）

**【横井宇高自治会長】**

宇高地区は市街化調整区域だが、開発が進み宅地化されています。農用地の問題もあるかと思いますが、生活環境の向上や沢津遊水池（公共水域）の汚濁防止から宇高地区の事業認可区域への編入を要望します。

**【環境部長】**

公共下水道（汚水）は、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上や、公共水域の水質保全を目的としており、主には住居が密集した市街地における下水排除を目的としています。そのために、整備対象地区は、都市計画用途地域や住宅地が形成された市街地周辺地区が優先されます。

ご要望の宇高地区の公共下水道区域編入についてでございます。宇高地区は、農用地の指定がたくさんあり、「田園居住地区」となっており、どちらかという市街化を抑制する地区でございますが、地区内の小学校周辺には人口集中地区が含まれている。次期の区域拡大は平成29年度に予定しており、来年度から検討作業に取りかかることとしており、その検討作業において、宇高地区の区域編入についても検討を進めて参りたい。

### ③課題名（高津公民館の耐震診断に伴う補強、増改築について）

#### 【川崎南小松原自治会長】

8項目あり、順番に申し上げます。

- 1) 事務所南側、宿直室の壁一部撤去改造し、事務所の有効利用
- 2) 南側非常階段下利用シャワー設備の設置
- 3) 1階学習室上部2階に会議室の増築
- 4) 災害時の断水を想定した対策として手押しポンプの設置
- 5) 公民館内の備品（ロッカー、書棚、陳列ケース等）の転倒防止対策
- 6) 公民館駐車場の確保（北側交差点の北側の土地の買収もしくは賃貸契約）
- 7) 屋外用イベント用に利用している折りたたみテーブル約100脚の傷みがひどく、触っただけでけがをする恐れがあるため、入れ替え
- 8) 1階調理室への空調設備の新設

#### 【教育長】

高津公民館につきましては耐震診断の結果、耐震補強工事の必要はないとの結論が出ておりますことをご報告いたします。

- 1) 宿直室改造につきましては、中の物品が片付き、床に段差がある部分をフラットにすることは可能と考えますが、壁の部分を開口して出入り口を設けることについては耐震面の影響などの問題もございますので難しいと考えております。
- 2) シャワー室設置につきましては、避難所としての役割を担う市内全公民館についても関係してくる話であり、新居浜市全体の防災計画を考える中で検討したいと考えております。
- 3) 1階学習室上部改造につきましても①と同じく、耐震強度に大きな影響をもたらすことを鑑みて困難ではないかと考えております。
- 4) の手押しポンプの設置につきましては、防災安全課より27年度の設置予定と確認いたしております。

- 5) 備品の転倒防止につきましては、備品の天井からの位置関係やガラス製の展示棚の開閉方式によって対応をさまざまに考える必要があり、まず市内すべての公民館の現状を把握し、今後の対策を検討したいと思っております。
- 6) 公民館の駐車場不足、特にイベント開催時の駐車場不足については他の公民館においても発生している事案で、現状では地元の皆さまに徒歩や自転車の利用を促していただきたいと思っております。現状これだけの用地を取得するだけの予算はありませんので、将来道路拡幅の際に面積がさらに狭くなるような状況が出てくれば検討したいと考えております。
- 7) 折り畳み機の傷み方は実物を見せていただきよく理解しましたが、今すぐ100脚一度に入れ替えることは現実的に困難で、現時点では返答いたしかねます。
- 8) 調理室の空調設備の新設につきましては、調理場を設置している市内8か所の公民館のどこにも未設置であることから、公民館全体の整備計画の中で早急に検討をしたいと考えております。

今回ご提案いただいた内容について、なかなか明確なお答えはできませんが、地域の重要課題として承ります。

#### 【再要望】

- ・折り畳み機については、子どもにとっても危険な状態なので、中古でも構わないので早急に入れ替えをお願いしたい。(川崎氏)
- ・駐車場整備は、道路拡幅後では土地の価値が上がってしまい購入費用が跳ね上がるのでお答えいただいたタイミングでは遅いと思っております。再検討していただきたい。(川崎氏)
- ・駐車場は普段使いの時にも慢性的に不足しており、ほかの敷地を利用していますので、イベントの時ばかりではないことをよく考えてほしい。(東雲町 松本氏)
- ・備品の転倒防止について、特に利用頻度の高い学習室にある陳列ケースは少し触っただけでもぐらぐらしており非常に危険です。早急に対応してほしい。(西岡氏)
- ・宿直室や学習室上部の改造は耐震強度に問題があるためできないということだが、耐震構造に問題が出ないように改造をする方向で考えてほしい。  
(時間の都合で回答求められず)

### 3. その他

- ・「高津まちづくり構想」の内容説明と市への協力依頼(企画委員長 毛利秀俊氏)
- ・近所に野良猫が増えて困っているので、何らかの対策をお願いしたい。(桜木町 田中氏)